

地域・施設

ブラタモリ (2015. 9. 1 仙台より M. K.)

7月18日にNHKで放送された『ブラタモリ #13 仙台「杜」と「都」』をご覧になった方も多かったのではないのでしょうか。街歩きの達人、タモリさんがブラブラ散策しながら、歴史の痕跡を見つけ、街の魅力を再発見していくという番組で、18日は、タモリさんと桑子アナは金研西側の強磁場センター角から片平丁小、高等裁判所までを歩きました。この道沿いの石垣は江戸時代の武家屋敷跡で、門にあたる場所（強磁場センター別館前付近）の石垣は明治時代に新しく組まれているため、周りの江戸時代のものと比べると、写真のように整っている様子が紹介されました。金研創立は大正5年、1916年ですが、そ



れ以前のこの近辺の歴史も興味深そうです。蛇足ですが、行きつけの近所の美容院でブラタモリの話になり、この石垣近辺に駐車している・・・という話をしたところ、思いがけず本所のある職員の方もこの美容院の常連さんであることが判明しました。その方も駐車場の話をされていたとのこと。さすが人気番組、思いがけないご縁がありました。

奈良の長谷寺探訪 (2015. 8. 10 奈良県にて E. M.)

6月に奈良の長谷寺を訪れました。長谷寺といえば「花の寺」と呼ばれ、一年を通じて様々な花が咲くことで有名。この時期は紫陽花。青や紫、ピンクに白など様々な色の花が、境内のあちこちに咲いて綺麗でした。長谷寺境内は山の起伏に沿うように作られており、ふもとにある総門の仁王門から上の本堂へは、三廊の屋根付きの石段「登廊(のぼりろう)」全399段を登って行きます。この登廊、下と上では一段の高さと奥行きが違います。ガイドさんの話では、この石段は人生を表しているそうで、若年期を表す下の登廊は段が低く奥行きが広いゆるい上り段、本堂に近い上の廊は一段一段が高く狭くなっています。生きること、それは即ち苦行なのですね・・・。ちなみに、紫陽花の花の色は酸性土壌だと青になるというのは知られていますが、これにはAlイオンが重要な役割を担っているそうです。一般的には花に含まれるアントシアニン系色素にAlイオンが結合すると青くなるため、酸性土壌では青、中性・アルカリ性土壌でイオン濃度が低くなると紫から赤となるとのこと。美しい紫陽花の青色は金属イオンのお陰。へー、知らなかった。(写真：長谷寺の紫陽花)



いよいよ・・・ (2015. 6. 1 仙台より N. F.)

今年は例年に比べて暑さを感じる日が多く、木々の緑もあつという間に濃くなってきて 風が颯爽と吹き抜けていきます。「いよいよ・・・その①」はJR仙石線、全線開通。東日本大震災で被災したJR仙石線が4年2ヶ月ぶりにあおば通り駅(仙台市)～石巻駅(石巻市)までの約50kmが復旧・開通しまし



た。覚えていませんか? 「く」の字に曲がった車両、、、なんと津波で被災したのは34kmにのぼり全体の60%が使えないままでした。線路は元通りの場所に復旧したのではなく、被災の酷かった高城町駅(松島町)～陸前小野駅(東松島市)が内陸高台に移ったことで実現できたのです。沿線の人たちにとっては いよいよ開通ということで盛り上がりしました。「いよいよ・・・その②」は仙台うみの杜水族館あと1ヶ月。長い間仙台近郊にあった水族館、松島水族館(88

年の歴史)が閉館しました。この7月1日に新しく「仙台うみの杜水族館」として仙台市宮城野区にオープンします。仙石線中野栄駅より徒歩で行くことができます。松島水族館にいた魚たちもみな今頃はお引越しかもしれません。いよいよあと1ヶ月。いよいよ開業。仙台うみの杜水族館ホームページ <http://www.uminomori.jp/> 少しずつ復興しながら、ほんの少しずつ歩き出しています。いよいよ・・・がこれからも少しずつあるようにと祈るばかりです。

SPring-8・SACLA 一般公開 (2015. 5. 11 姫路より M. I.)

よいお天気に恵まれた4月26日、兵庫県の山あい、佐用町光都にある大型放射光施設SPring-8とX線自由電子レーザー施設SACLAの施設公開に行ってきました。名前は前から知っていましたが、「輪になった建物の中を光が回ってるらしい」くらいの認識で、何をしているところなのかよく知りませんでした。今回はその謎が解明されるのかとワクワクしながらの参加。当日は5,600人もの来場者で賑わい、若者から年配のご夫婦まで様々な人がスタッフの説明に熱心に耳を傾けていました。研究者自ら、放射光の作り方から取り出し方、さらにそれを使ってどんな事を調べられるのか等、説明してくれます。超高圧を作るのにダイヤモンドを使い、しかもたまに割れちゃったりするという話に思わず値段を聞いてしまう私。天然パーマに悩む娘は「放射光を利用した、くせ毛の構造解析」に興味津々。この巨大な施設は、環境・バイオ・医療・地学・考古学など多種多様な分野の研究に利用されていたのでした。ここで何かを作っているわけではありませんが、ここで行われた研究が私たちの身近な意外なところで役立っています。こんな世界一の施設が兵庫県内にあるなんて、ちょっと誇らしく思いました。高校生もたくさん見学に来ており、このような新しい研究に刺激を受け、将来の職業選択の一助になるといいなと思いました。



九州から東北へ (2015. 4. 28 仙台より Y. S.)

福岡から仙台に移り住んで1か月が経ちました。今まで仙台はもちろん東北にもほとんど縁がなかったので、この1か月は驚きの連続です。その中でも印象にあることはやはり寒い・・・のはさておき、お花見に次ぐお花見、ということでしょうか。と言うのも、福岡では3月末に桜の満開を迎えます。桜吹雪に送られながら、こちらに来てみるとまだ開花前。今月中ごろに(それでも例年よりも早いそうですが)満開を迎えました。そんな中でのお花見は、福岡で卒業生を見送るように咲いていた桜が、仙台では新入生を歓迎しているように見え、人はその時々で同じものでも感じ方が違う、ということに改めて体験させるものでした。さて、先日歩いて仙台城址まで登ったときに撮った写真・・・せっかく来たのに逆光で残念とを感じるか、後光がさしているようだと感じるか、そんな小さな感じ方の違いでも楽しみながら、ゆっくりと仙台という街に慣れていきたいと思う今日この頃です。



仙台と広島 (2015. 3. 2 仙台より H. K.)

仕事の都合で広島から仙台へ来て2年が経とうとしている。仙台市と広島市は同じくらいの人口と面積を有しているので街の規模もほぼ同じと言えるかもしれない。しかし実際に住んでみると仙台の方が広島より都会で利便性に優れていると感じる。その理由を挙げると、地下鉄があること、空港から市街地まで近いこと、(仙台)駅前が開発されていることなどがある。広島には地下鉄がない。都市の規模を考えると、あってもよいと思うが、デルタ地帯であるため地盤が緩く建設に適していないと聞いたことがある。それに代わる有力な交通手段としては路面電車があるが、地下鉄



に比べるととても遅い。100~300m間隔で存在する電停や赤信号で頻繁に停車するので、自分で走ったほうが早いのではないかと考えてイライラする時もある。しかし、この路面電車に乗ると原爆ドームと厳島神社の2つの世界遺産に行くことができる。このような観点で見ると、おそらくこれほど素晴らしい路面電車は他にはないと思われる。現在、広島駅とその周辺は再開発事業が行われており徐々に活気づき始めている。そして、何より黒田投手が戻ってきた。さらには、原爆投下から70年。今年は広島に行く理由がいくつかある。(写真はマツダスタジアム)

姫路駅から見えるもの (2015. 2. 10 姫路より K. A.)

仙台、姫路、堺と順に執筆するこのコーヒブレイク。姫路の第一回は、私が今回と同じ題名で執筆しています。あれから、兵庫オフィスにお見えになった方と、「姫路城はいつまで修理している?」「あと●年ですので、修理が終わった時に来てくださいよ」と、このやり取りを何回したのか。今の様子は写真の通り。天守閣の修理も終わり、姫路城が全容を現しております。真っ白で白鷺城と呼ぶに相応しい外観。この白さは黒カビを抑えられている数年間だけと聞いてからは、白すぎるぐらいの今の白鷺城がお気に入りになりました。3月27日には姫路城がグランドオープンし、今後は天守閣にも上れるようになります。



詳しくはこちら (<http://www.himejicastle.jp/>)。「姫路駅を降りて北口を出ると、大手前通りの先に世界遺産・姫路城が構えているのが目に入ります。兵庫オフィスに来る途中で、白く輝く姫路城も見えます!」

花咲く未来のために (2014. 9. 10 姫路より Y. S.)

兵庫県立大学姫路工学キャンパス内には、平成23年度より開設された就業力育成支援室・キャリアセンターがあります。ここでは技術者として進むべき将来の姿を定め、職業に就くための準備を支援しています。これらの支援の中で、就職活動で企業へ提出するエントリーシートの添削を依頼されることがよくあります。そして、彼らの今までの生き方や考え方などの話を聞くといつも驚かされることがあります。それは、今まで当たり前のようにやってきたことが実は凄いこと!! なにも取り柄がない人なんて一人もいない! ということです。これは誰にでも言えることだと思います。しかし、当



の本人は全く気付かず、エントリーシートには何も書かれていないのです。まずアピールポイントを探す為には、過去の自分について「棚卸作業」を行ってもらいます。そして、今まで気づかなかった「自分」について客観的な視点で解説してあげることで、自信を持ち就職活動に励んでもらいます。その他、自分史年表を作り、その時に起こった出来事や交友関係など何でもいいので記入します。また5年後、10年後の未来像も書くことで、今やるべきことが見えてきます。実際に作成してみると、なかなかおもしろい作業です。「この時期は〇〇して楽しかった」や「落ち込みが続いた時期」、そして「10年後の目標は〇〇になること!」など書き出すことで、現在の在り方を再確認できます。この仕事を通して、ほんの少しの導きが優秀な学生の人生をより可能性に満ちた未来へ繋げるお手伝いができることを大変嬉しく思います。またそんな学生が将来、世界中から認められ「技術の国日本」を代表する技術者となることを願っています!

高台の参道から青葉山を愛でる (2014. 8. 4 仙台より Kounin)

梅雨時はここ仙台も、雨の日が多くて困ったものです。先日、青葉区のはずれに位置しております「北山五山」の一つ、資福寺に紫陽花を愛でに行ってきました。仙台市街には有名な観光地がないのですが、ここ北山界隈は風情のある庭園や寺院が軒を連ねており、散歩コースにはうってつけの場所です。境内からは青葉山や仙台市内を一望することができます。猫はいますが熊は出ません。日頃原



子ばかり眺めている身にとっては、しばしの間まったりとくつろぐことのできる、とっておきの場所です。週末には、だんご片手に家族を連れてお寺巡りをするもこれまた一興です。

捧げられた眺望 (2014. 7. 10 姫路より Y. H.)

皆さんは、新幹線記念公園という公園をご存知でしょうか。正式には山陽新幹線記念公園という名称のこの公園は、兵庫県西宮市の山陽新幹線六甲トンネル入り口の頂にあります。公園という名称がつけられていますが、そこに遊具や砂場があるわけではなく、ただ1つの慰霊碑が建てられています。山陽新幹線の新大阪―岡山間の建設工事は、昭和42年3月に始まり、5年の歳月を費やして昭和47年3月に完成しました。この建設工事の中で、六甲山を貫く六甲トンネルの掘削工事は困難を極めたということです。その工事は、当時の最先端土木技術を用いても容易ではなく、工事作業中に54名もの尊い命が失われるという甚大な被害を出しました。そして六甲トンネル貫通と山陽新幹線の開業を記念してこの公園が作られたとき、この建設工事で殉職された方々の慰霊碑が建てられました。一見するとこの公園には慰霊碑の他に何も無いように見えます。しかし、実はその慰霊碑の先に阪神平野の大阪側を見渡せる素晴らしい景色が広がっています。そして、その景色を背景に新神戸駅へ向かって足下のトンネルに高速で飛び込んでくる、そしてトンネルから高速で飛び出し新大阪駅へと走り去る新幹線を間近で見られる場所でもあるのです。当時の関係者は、この素晴らしい眺望を殉職した仲間に捧げたのかもしれませんが、これだけの人的被害を出しながら、それでも工事を続行してこの大事業をやり遂げた当時の情熱には圧倒されてしまいます。そして、この大きな犠牲の上に今の便利な生活があることを思うと、慰霊碑の前でただ頭を垂れるばかりでした。



新緑と残雪の奥入瀬溪流 (2014. 7. 1 仙台より F. N.)

北東北も柔らかな芽吹きとともに新緑が風に揺れる美しい季節になり、少し遠出をしてみました。青森は初めてでしたが、陸奥湾に停泊する青函連絡船「八甲田丸」、ねぶたの館「ワラッセ」、そして十和田湖・子ノ口から流れ出る奥入瀬溪流と観光してきました。八甲田へ向かう道は残雪が1mほど道路脇にもあり、また霧が晴れたときに見える八甲田山は雪渓が山肌にくっきりと浮かびあがりすっかり夏山の表情でした。奥入瀬では清流というにふさわしい透明な水がブナの林を縫うように流れ、滝の水を取り込み、ベルベットのような苔のむした大きな岩をあらうように14kmの流れはやがて十和田湖温泉郷へ注いでいきます。豊かな自然の長い時間を経て作られた景観に包まれ悠久のときを感じながら、深呼吸をしました。マイナスイオンたっぷりの奥入瀬溪流でリフレッシュしたあとは、酸ヶ湯温泉に入浴し驚きの連続でした。近隣にはいくつかの温泉が点在しているので、ゆっくりとこの夏にでも巡られてはいかがでしょうか。



工場見学 (2014. 06. 09 仙台より M. S.)

来客がありまして、どこかに出かけようということで、仙台市青葉区作並方面にあるお酒の工場に行ってきました。仙台で育ったので、学校の遠足等を数えて、私自身はかれこれ4回目の訪問。初めて霧に包まれていない、お日様の下での見学に、なんともいえず興奮というか、しみじみ感慨深いものがありました。10年数前の記憶と違うところが、チラホラ。特に、見学コース最後のゲストホール。なんとまあ、別の新しい建物があり、試飲(無料・有料)と売店、展示が充実しているではありませんか。私はお酒を嗜まないことから、ノンアルコールの物をいただきまして、一方、同行者は4種類のお酒を飲み比べた末に、ウトウトとうたた寝が始まってしまいました(笑)(注意書きには20分と書いてあるものの、見学の終了時刻に近かったせいか、注意されませんでしたけど、ご迷惑をおかけしました)。こちらの創業者ご夫妻が、NHK平成26年



度後期朝ドラのモデルだそうです。こちら仙台でのロケはないでしょうが、ブームになる前に再訪できて、よかったです。

雪彦山 (2014. 5. 12 姫路より S. T.)

姫路駅から車で1時間ほどのところに三彦山の一つ、雪彦山(残りは新潟県の弥彦山、福岡・大分県にまたがる英彦山)があります。もともと三彦山は古来より修験者の山として信仰を集めてきました。雪彦山は大天井岳をはじめとする幾つかの頂からなり、標高はそれほど高くはありません。しかし修験の行場に相応しく頂付近は岩場が多く絶壁となっている箇所があり、ロッククライミングの名所としても知られているようです。山頂までは麓の登山口から4時間ほどで登って降りてくることができ手軽に登山が楽しめます。登山はちょっと... という方には室町時代に播州守護だった赤松氏の居城置塩城跡や壺坂酒造の酒蔵などが、雪彦山に向かう途中にあります。山に登らないまでもドライブがてらに訪れてみてはいかがでしょうか。(写真正面が雪彦山、右手の神社は賀野神社)



龍野公園 (2014. 4. 10 龍野にて T. M.)

北側を的場山と鶏籠山に囲まれる、たつの市龍野町北龍野の一带は、龍野公園と呼ばれており、聚遠亭など多くの史跡があります。また、公園内の桜は、一目三千本といわれ、春にはさくら祭りが開催されます。半年後の秋には楓が赤く色付き、見事な紅葉スポットになります。誰もが知っている童謡『赤とんぼ』の作詞者である三木露風は、このたつの市の出身です。生誕地にちなんで公園内には歌碑が設置されており、歌碑の前に人が立つと赤とんぼのメロディーが流れるようになっています。先日、久しぶりにこの龍野公園に行ってきました。すると、歌碑の前に何やら看板が…。まさかとは思いましたが、嫌な予感が的中。そこには『落雷被害により現在故障中で、童謡のメロディーは流れません。』って書かれてありました。一緒に出かけた子供たちは、この仕掛けをすごく楽しみにしていたらしく、とても残念がっていました。けれども、近辺に小さな動物園があり、機嫌を損ねた子供たちも孔雀を見て大喜びでした。孔雀さん、ありがとう。ローカルではありますが春や秋は観光客である程度賑わいますし、観光地として十分にお薦めできます。逆に、シーズン外は自然豊かな上に人通りも少なくなるので非常に静かです。日頃のストレスを解放し、心を落ち着かせたい時やじっくり何かを考えたい時などには絶好の場所であると私個人的には思います。様々な特色を持つこの龍野公園、是非一度訪れてみてください。



春のきざし…中山寺の梅 (2014. 3. 20 兵庫県宝塚市にて M. S.)

最近少しあったかくなってきたかなと思えば、急に肌寒くなる。「春」がもうすぐ来るようでまだ来ない今年の3月。そんな中、春のきざしを感じることのできるスポットを紹介します。兵庫県宝塚市には、全国から安産祈願に参られることで有名な中山寺があります。特に戌の日や大安の休日、年末年始では終日参道が人で埋め尽くされるほどにぎわいを見せています。そんな境内の西にあるのが「中山観音公園」。その公園内に入ると、これまでのにぎわっていた人々の声から小川のせせらぎの音にBGMが変わります。さらに進み、ふと山の斜面をみると、上には白い梅の花が、下にはピンクの梅の花が2つの層になって斜面を覆いつくしている。華やかさというよりは、この静寂の中の美しさが見る人の心をリセットできるような、そんな気分になります。年度末のこの時期、ふと自分を振り返ることのできる場所かもしれません。今年は例年より開花が遅く、16日現在で7分咲きとのこと。今週の連休あたりは満開の梅を見ることができるかもしれません。阪急宝塚線「中山観音」駅から歩いてすぐの中山寺に足を運んでみては。



官兵衛ゆかりの広峯神社 (2014. 3. 10 姫路より M.Y.)

皆さんは大河ドラマ「軍師官兵衛」をご覧になっていますか？官兵衛ゆかりの地はたくさんありますが、その中で広峯神社をご紹介します。広峯神社は、姫路市中部の広峰山山頂にあり全国にある牛頭天王総本宮です。姫路に移り住んだ官兵衛の祖父・重隆が、神社の御札と一緒に黒田家秘伝の目薬を売って財を蓄え、黒田家発展の基礎を築いたとされています。2月中旬、いざ車で広峰山の山頂へ。ふもとから山頂まで2キロくらいでしょうか。山頂にある駐車場から少し歩いて本殿へ向かい、参拝したあと御師屋敷跡をまわりました。今は住む人もなく荒れてはいますが、立派な石垣の跡を見ると当時の賑わいが偲ばれます。本殿へ戻ってきて売店を覗くと官兵衛にちなんだお菓子やグッズが並んでいました。黒田24騎（官兵衛が選んだ精鋭24人）のポスターもあり小学生に大変人気があるとのこと。歴女(?)のわが娘もポスターを買ってニコニコ顔です。駐車場へ戻る途中に「メグスリの木」もありました。これで目薬作ったんですね。官兵衛ゆかりの地は、他にも姫路城、御着城址、青山古戦場跡などたくさんあります。皆さんもぜひ戦国屈指の軍師「官兵衛」の時代に思いをはせて姫路を巡ってみませんか。



府立大学の不思議な建物のお話 (2014. 2. 18 堺より M.O.)

大阪府立大学にある不思議な建物のお話です。その建物の名は、東北大学 関西センター大阪オフィスのある先端科学研究所本館。1993年3月工事開始、1995年2月竣工。府立大学では、最も高く（8階建、2階部分が天井高の為、実際には10階建）、高かった（総工費約72億）建物。大学のシンボリックな研究施設としてバブル時代に設計された為、大阪府基準としては贅沢な仕様となりました。最上階からの眺めは絶景です。金剛・葛城連峰から和泉山脈、淡路島、六甲・北摂の山々、生駒山系へと、ぐるり巡る見事な大パノラマが楽しめます。構内に数ある建物のなかで、不思議なことに、この建物だけが立っている方向が特異。それで、夏至の頃には、写真のような幻想的光景が大阪オフィス前の廊下に出現。時刻は午前4時53分。長い廊下の向こうに見えるのは、生駒山系から昇ったばかりの朝陽。古代エジプトの神殿にタイムスリップの、感動の一瞬。皆さんも、是非ご覧になって下さい。尚、梅雨の頃ですので、東天快晴の夜明けは稀有。西から張り出す移動性高気圧が梅雨前線を南に押し下げる予想天気図を確認の上、数年に一度あるかないかの幸運を祈念してお越し下さい。



姫路のものづくり (2013. 10. 10 姫路より N.N.)

今回は、姫路のものづくりについてご紹介したいと思います。姫路には様々な地場産業があり、有名なものでは革製品・ゴルフクラブ・マッチ・そうめん・地酒などが挙げられます。革製品はなんと弥生時代後期に大陸から技術が伝来したと言われ、国内の70%のシェアを誇っています。ゴルフクラブは日本で初めて生産した街だそうで、マッチの生産量は国内の90%、そうめんは有名な「揖保の糸」があります。地酒も龍力や灘菊酒造といった大手酒蔵があり、これは上質な川の水とお米に恵まれているからだといいます。その他、地域の名産物で頭に浮かぶのが、穴子・かまぼこ・醤油で、いずれも姫路を代表する品です。姫路市民として、これらのものづくり産業を大切に、地域の更なる発展につなげていってほしいと願っています。



大阪市営地下鉄に「ようおこし」(2013. 9. 20 大阪市にて T. H.)

大阪市営地下鉄を使っていて、最近変わったことと言えば、売店が某有名コンビニに変わったことや、トイレが新しく改装されたこと。地下鉄のトイレと言えば、これまで「臭い、汚い、暗い」と苦情が多くて、長居は無用、用を済ませばさっさと立ち去る人がほとんどではないでしょうか。それが大阪市長の肝いりで、今年の2月から順次トイレが一新しています。トイレの入口は、暖かみと落ち着きを感じる木目調で、男女の姿の下には「ようおこし」の文字。トイレに「ようおこし」というのは、不思議な感じもしますが、大阪人の「おもてなしの心」の現れのようにも感じます。改装の際に、照明をLED照明にしたり、節水型の洋式便器を採用するなど、省エネにも配慮されています。女性のトイレには、パウダールームも設置され、機能面、デザイン面にも配慮されています。これまでのトイレも、機能的には何の問題もないけれど、「あったらいいな」と考えているニーズをくみ取り、だれにとっても気持ちよく使いやすいものを、斬新なデザイン、最新の技術と組み合わせせて創り出す、ものづくりの精神にもつながるものですね。



華麗な身のこなし! ? (2013. 9. 2 仙台より K. M.)

栃木県へ旅行に出かけた際、偶然見つけたトリックアート美術館に飛び込んでみました。休日家族連れで大変盛況な館内をじっくり1時間かけて目の錯覚を楽しみました。勝手にトリックアートは外国から由来するものと思いついていましたが、実は日本発祥のもので、世界初の美術館も1991年東京に始まる、歴史も浅いものだそうです。多方面から見ることで如何様にも姿を変えるアートは何も美術館の中の絵画だけでなく、日常にも溢れているのかもしれませんが。思いがけず、仕事や遊びへの心掛けにも繋げて見入ってしまいました。トリックアート展は、知的テーマパークとして、地域開発・街の活性化をメリットとして近年全国各地で続々と開催されています。みなさんも是非一度心地よく騙されてみてはいかがでしょうか??



姫路科学館 (2013. 7. 10 姫路より H. S.)

姫路工学キャンパスより南西約10キロの桜山公園内にある「アトム館」姫路科学館に行ってきました。こちらのプラネタリウムは今年3月16日にリニューアルオープンされており、直径27m 世界第5位、国内第4位のドームスクリーンから全天周デジタル映像の美しい星空案内などが投影されています。今回は、ギリシャ神話と人類の歴史を織り交ぜた壮大なストーリーの美しい全天周映画が上映されていました。また、入館してすぐの壁面に七夕の大きな笹飾りが展示されていました。五色(ごしき)の短冊にたくさんの願いごとがつるされており、子どもたちが短冊に願いごとを託していました。吹流しや夏の初物(その年に初めて収穫された農作物)が飾られる七夕飾りを久しぶりに目にし、懐かしく感じ私も短冊にお願いを…。そしてちょうど七夕の7月7日に入場者が400万人突破と記念すべき日になっていました。7月26日から開館20周年の記念特別展として「お化け屋敷の科学-3D-のひみつ」が9月8日まで開催されるとのことです。暑い季節にぴったりの企画なので、皆さんも機会があれば涼しい科学館に足を運ばれてはいかがでしょうか。



恐竜展をみて… (2013. 6. 20 大阪市にて R.N.)

3歳の娘を連れ、モンゴル恐竜化石展（大阪市立自然史博物館）に行ってきた。化石が6,500万年前の地球の姿を語る。人間の歴史なんて点のようなものだ。謙虚になれるよい一日だった。さて、「云万年」という言葉の響きからある映画を思い出した。時間スケールの桁と時間軸の向きは異なるが、『100,000年後の安全』という放射性廃棄物の処理問題を扱ったフィンランドのドキュメンタリー映画である。地震列島の日本とは違い、地下深くに安定的に廃棄物を封印できる場所があるらしい。100年前は…、1000年前は…と歴史年表を振り返ってみると、「10万年後」とは想像し難い未来と言える。我々がピラミッドに超大な歴史を感じたように、未来の人類が地下処理施設にミステリーを感じてしまったら…。「10万年」という言葉に込められるこの映画の主題は、技術の問題を超えた倫理的問いかけである。不幸にも、我々は福島第一原発事故の当事者となってしまった。様々な見地からの失敗の研究は必須であろうが、現在からの延長上にある歴史という観点から、次元の異なる大きな議論をする責任をも我々は同時に引き受けなければならない。そのことを鋭く突き付けられた映画であった。（恐竜化石展は6月2日で終了しています。悪しからず。）



スタンプラリー② (2013. 6. 3 仙台より T.T.)

みなさん「日本100名城」というのをご存知ですか？平成19年に日本城郭協会が歴史的、建築的価値等を考慮し、全国（各県1城以上、5城以内）から100ヶ所のお城及び城郭を厳選し、認定したものです。関西センターのある大阪、姫路にもそれぞれ大阪城、姫路城がありますが、上記2城に加え熊本城、松本城など有名なお城から根室半島チャシ跡群や観音寺城（滋賀県）などあまりなじみのない所も含まれております。そして、上記の認定に合わせ「日本100名城選定記念スタンプラリー」が開始されました。私は2年前にこの存在を知り、お城や寺社仏閣を見るのが好きだったこともあり、ラリーを始めました！全国各地、駅の近くにもあれば、最寄り駅から徒歩60分という所もあります。目標は5年以内に全て巡りたいと思っておりますので、収集完了時に金研にありましたら、結果報告をさせていただきますと思います。



大阪府立大学 近郊 こんなところ (2013. 2. 20 堺より T.I.)

堺は、三国の境界に位置するところから名付けられた地名で、摂津・和泉、両国の境界線が「大小路通り」、これに河内を加えた境界点が三国ヶ丘で、方違神社が鎮座しています。この神様は、引越の際、特に方位の悪い場所へ移動する場合に御利益があると信じられ、「方違さん」と親しみを呼ばれています。ここは、南海高野線・堺東駅に近いところに在り、三国ヶ丘駅からは距離があります。近郊の難読地名として堺市・上神谷（にわだに）、和泉市・女鹿坂（めまさか）があります。女鹿坂は、この付近に住んでいた、後の光明皇后が、都に向かう際、お母さんの鹿が、ここまで送ってきて、別れた所だと云われています。ここから信太山丘陵を越えると、陰陽師で有名な安倍晴明のお母さんである、狐を祀った葛の葉神社があります。「言い伝え」など多々ありますが、文章量に限りがございますので、他書に譲ることとして、今宵は思いを巡らせながら、貴醸酒は如何でしょうか。



工場夜景 (2012. 8. 10 姫路より Y.F.)

兵庫オフィスが所在する姫路市は、世界遺産である姫路城や、西の比叡山と呼ばれる書写山圓教寺など、歴史的な見所を持つ都市としてよく知られています。一方、瀬戸内海沿岸部には、製鉄や石油化学関連企業など、数多くの工場やプラントが建設されており、工業都市としても有名です。夜に沿岸部を車で走行しますと、ライトアップされた工場が暗闇によく映えており、絶え間なく動いている工場の活気が伝わってきます。その煌々と輝いた様子は、とても美しく、鑑賞夜景として楽しむことができます。この夜景は、姫路市内の観光スポットの一つとして人気があり、見学バスツアーが企画されている程です。写真はその様子を撮影したのですが、夜景を綺麗に収めるには技術が必要ですね。実際の風景は写真よりも迫力がありますので、近くを通りかかった際には覗いてみては如何でしょうか。



川違え (2012. 7. 20 堺より M.T.)

堺市の北の端、大阪市との境界に「大和川」がある。大和川は奈良県から大阪湾に向かって、おおよそ東から西に流れている。大阪湾から約 20km 上流に和泉山脈、金剛葛城山系を源流とする「石川」が南から合流している。大和川は 1704 年の川違え（付け替え）までは、この合流点から北側に位置する河内平野を経て、淀川に流れ込んでいたとのことである。大和側は天井川で、たびたび氾濫し悩まされていたそう。この約 20km の付け替え工事をわずか 8 か月で成し遂げた。当時の市民のパワーを感じる。この川違えに尽力した庄屋の「中甚兵衛」（現在の東大阪市）の像が合流点（国道 25 号線、柏原市安堂）に建てられている。写真は合流点付近からの遠望である。この川違えによって、新たな新田開発が進展し、工事費を上回る収入が得られたそうだ。一方では、従来とは違った新たな水害地が出来上がったそう。また、堺の港も堆積物のために良港としての役割が果たせなくなったとのこと。



スーパーコンピュータ「京」 (2012. 7. 10 神戸にて T.S.)

昨今、各国でスーパーコンピュータ（スパコン）開発で熾烈な競争が繰り広げられていることはご存じのことと思います。昨年、日本では神戸のポートアイランドにある“京”スパコンが、TOP500 で 1 位を獲得し世界最速と評価されました。（ちょうどこの記事を書いているときにプレスリリースがあり、“京”スパコンはアメリカ・リバモア国立研究所のスパコンに次いで 2 位となってしまいました。）兵庫県立大の入っている計算科学センタービルの隣に“京”スパコンの設置されている計算科学研究機構があります。この機構建屋の前には京にちなんだモニュメントがあります。普通ですとスパコンの見学に来られたのなら、メインのコンピュータの方に意識がいつているので素通りしてしまうことが多いかもしれません。写真がそのモニュメントです。名前は“発展の塔”で米林雄一さんの作品だそうです。ひと際目を引くのが一番上に乗っている金色の部分で、下の方は黒いひし形のものが多いか並んでいます。黒いひし形の部分はソロバンの玉を模したものになっており、玉の数は合計 17 個あります。17 個並んでいるには理由があって（少なくとも筆者にはそう思っています…）ちょうど“京”スパコンの処理能力（約 1 京 flops [flops: 1 秒間に浮動小数点演算が何回できるかの単位]）に対応しています。つまり一番下から 10 の 0 乗（一）、1 乗（十）、2 乗（百）、…15 乗を表わし、一番上、金色の一つ下の玉が 10 の 16 乗、すなわち 1 京です。1990 年代、日本の多くのスパコンは TOP500 上位に入っていました。地球シミュレータ、京に続き今後も世界をあっという間に驚かすスパコン作りを続けてもらいたいと願っています。



高台の参道からネコを愛でる (2012. 7. 2 T. K. K. K.)

関東の猛暑から逃れて早4年が経ちました。それまでの仙台のイメージは、牛タン、萩の月、青葉山、広瀬川、さとう宗幸氏でしたが、仙台城址（俗に言う青葉城）が石垣だけだったことやさとう宗幸氏が愛知県出身だと知ってただならぬ衝撃を覚えたものです。こちらでは農家の方を紹介して頂いて無農薬玄米を調達したり、仙台味噌で味噌汁三昧、さらには支倉焼きでティータイムと食生活には大変満足しています。金研の位置する片平地区は都会と広瀬川・青葉山が間近に位置していて、最先端の研究をしながら大自然を満喫でき、なおかつちょっと歩けば商店街に出向いたり新幹線にも乗ることができる稀代のロケーションです。自宅の周りにはお寺がたくさんあって、休日には高台の参道から仙台市内を見下ろしつつ、お団子をほおぼりながらネコを愛でるのもこれまた一興です。



スタンプラリー (2012. 6. 1 仙台より N.Y.)

時間があるとドライブに出かけます。その際よく利用するのが、「道の駅」。地元の特産品を買ったり、食堂で郷土料理を味わったりすることが出来ます。そこで見つけたのが、この「道の駅スタンプラリー」。東北6県の道の駅140駅（内2駅は震災の影響で閉鎖中）が網羅されています。138すべてを制覇するのはなかなか難しいですが、スタンプを5個、30個、80個集めた場合にもそれぞれ道の駅共通商品券が当たる抽選に参加することができます。ちょっと疲れても大丈夫。冊子のスタンプ欄には近くの温泉施設への距離が記載されていますし、温泉施設併設の駅もあります。疲れを癒してから帰宅するのもお勧めです。今年は東北地方周遊の旅に挑戦してみたいかたがでしょうか。（参考URL：東北「道の駅」連絡会 <http://www.michinoeki-tohoku.com/>）



中百舌鳥、白鷺界限 (2012. 3. 19 堺より T.Y.)

大阪府立大学は南海高野線中百舌鳥駅、白鷺駅に挟まれた地にあります。工学部の側は土師ニサンザイ古墳に隣接しており、ここより更に西側を展望すると仁徳陵(大仙古墳)、履中天皇陵、イタスケ古墳など40にもものぼる古墳(いわゆる百舌鳥古墳群)が点在し、古代日本史が好きな人にはたまらない魅力に富んだ地です。仁徳陵一帯は公園整備が進んでおり、今や家族づれの散策に適した公園になっています。大学の近くには古代からの地名が残っており、大鳥(鳳)、百舌鳥など鳥にちなんだ地名があるのは古来より多くの鳥が住んでいた証拠でしょう。古墳群は手つかずの森林が残り“鎮守の森”へと化して多くの鳥たちの棲み処にもなっています。府立大学の敷地内でも多くの鳥を目撃します。樹木の下に駐車でもするものなら、絨毯爆撃をうけ憤慨(糞害)やるせないものがあります。最近では構内で見かける鳥はカラス、ハト、椋鳥、ヒヨドリなどほんの一部の種類だけが大量で見られ、鷺や百舌鳥などはほとんど見かけなくなったのは寂しい限りです。夜の中百舌鳥、白鷺界限。夕方6時を過ぎ薄暗くなると飲み屋さんと一緒に灯りがともり出します。夜の中百舌鳥、白鷺周辺を歩くと妙に焼き鳥屋さんが多いのが気になります。



太陽の塔 (2012. 1. 23 千里にて H. S.)

千里に住んで40年。万博公園にある太陽の塔は見慣れたモニュメントのひとつです。EXPO'70大阪万博の象徴として、日本庭園や国立民族学博物館とともに語り継がれてきました。塔は高速出口の近くにあり、遠出した帰りにライトアップされたあの顔を見るとホッとします。いつも利用する日本庭園前駐車場が塔の裏側にあるため、過去を表すといわれる背面の黒い顔が、私の見慣れた塔の姿です。公園では四季折々に花が咲き、休日には様々なイベントが催され、大観覧車のあったエキスポランドが無くなった淋しさはありますが、散歩するには十分すぎる広さです。かつては暴走族のサーキットになっていた万博外周道路も、今は渋滞で車が溢れ信号が増え、喧騒を撒き散らしていた若者のパワーが失せたのは世の流れでしょうか…？



播州赤穂 (2011. 12. 09 姫路より T. N.)

兵庫県立大書写キャンパスがある姫路市から西約35kmに忠臣蔵で知られる赤穂市があります。その赤穂市の住民としてこの町のPRをさせてください。赤穂浪士47人による吉良邸の討ち入りは、約300年前の江戸時代の元禄14年に起きました。以来語り継がれ当地赤穂では、まもなく仇討の日当たる12月14日に、町挙げての一大行事として「赤穂義士祭」が開催されます。毎年各地から大勢の観光客も来られます。特産品の「赤穂の塩」は、瀬戸内海の温暖な気候を利用して、江戸時代より生産されてきました。その製法は400年程続いた入浜式塩田から、昭和20年後半には流下式塩田に変わりました。私の子供のころには、海岸に沿って写真のような広大な塩田がありましたが、今は埋め立てられ、風景が大きく変わってしまいました。現在、赤穂の塩はイオン交換膜法により工場内で生産され、全国需要の7分の1を占めています。また、冬の味覚の「牡蠣」もシーズンとなりました。姫路にお越しの際は、赤穂まで少し足を伸ばしてください。



豊かな緑に囲まれた研究所 (2011. 11. 21 堺より 自然の移ろいを楽しむ T. Y.)

歴史のある自由な街、商都「堺」で、多くの古墳が近くにある大阪府立大学の中にあります研究所は、エジプトの王に似た模様がある建屋にあり、周りは緑が豊かで気持ちがなごむ場所でもあります。今は枯れ葉が舞う風情を感じる時期で、イチヨウの葉の黄色がきれいな銀杏や初夏に鮮紅色の花を咲かせるざくろ、桃・枇杷の果実とユッケの白い花を楽しめます。これから、寒い時期が過ぎて梅の花や桜・桃・ぼけの花が咲く春、つつじ・アジサイ・ブラッシンノ・夾竹桃・ざくろ・ゆり・ユッケの花と夏から秋に向けての四季の移り変わりを研究等の合間に堪能できリフレッシュできます。この環境は、地域住民にも開放され散歩されている方を見かけます。この緑豊かな環境と、研究所の笑顔の素敵な女性をあとにして、帰り支度としますが、若いころであれば立ち寄りそうなお店は避けて、古そうなお店の立ち飲みやでご主人がおいしく仕上げたおでんと焼酎でほろ酔いかげんで帰宅するのが楽しみになりました。(年のせいか明日に残らない程度に…)



大阪発:水都大阪 (2011. 10. 20 Y. U)

仕事の打ち合わせで中之島にやって来ました。ここは大阪の中心を流れる「土佐堀川（とさぼりがわ）」です。ちょうど、観光客を乗せた水上バスが、ゆっくりと通り過ぎて行きました。大阪は、お好み焼き（やっぱりご飯に合います！）、串かつ（ソース二度漬け禁止！）、5●1の豚まん（大阪おススメ土産！）を代表する「食い倒れのまち」ですが、別名「水の都」とも呼ばれています。川を中心に発展してきた大阪には、「八百八橋（はっぴやくやばし）」と呼ばれるほど、たくさんの橋があります。ちなみに、大阪市内だけでも800橋以上。地名も「天神橋」・「天満橋」・「京橋」・「心齋橋」・「淀屋橋」・「日本橋」…など、「橋」とつくところが沢山あります。水都・大阪の観光戦略として、水辺イベントが盛んに行われています。皆さまも是非一度、お出かけください。



<http://www.osaka-info.jp/suito2011/> (水都大阪フェス 2011)

姫路発:男鹿島 (2011. 10. 11 M. E.)

夏に訪れた男鹿島。島名の由来は、姫路市飾磨区に住んでいた牡鹿が島へ渡ってきたとの言い伝えから。ちなみに飾磨区には妻鹿という地名がある。島が花崗岩で出来ており、石材搬出が主産業。ここの石は古くは大阪城等の城壁、最近では神戸空港や中部国際空港の礎石にも使われていると宿の人に聞いた。現在も20社位程度の採石会社があるそうだ。写真に見える向こうの山も、裏は石切でごっそり削られていた。民宿のすぐ横には海水浴場。採石の島らしく、海底には貝より小石が沈んでいる。びっくりしたのは、走っている車のナンバーが無い!! 聞けば島自体が町の所有地で、ナンバーは不要。その代わりなのか、車体に手書きで番号が書かれていた。



姫路発:キャンパスに憩う (2011. 09. 15 H. O.)

兵庫オフィスは兵庫県立大学書写キャンパス（旧姫路工業大学工学部）にあります。キャンパスの背後には西の比叡山と呼ばれる書写山が聳え、この山上には寺格の高い古寺「円教寺」が構えています。ここでは「ラストサムライ」やNHK大河ドラマ「武蔵」の撮影もあったそう。研究室があるインキュベーションセンターはキャンパスでは北寄り東端になりますが、建屋の横に東門があり出入りが便利。この門の前に位置する学生サークル会館の外広場には、自動販売機や腰掛、喫煙スペース等があり、学生や教職員の休憩の場になっています（キャンパスマップは[こちら](#)）。写真は兵庫オフィスへの入居作業中（4月）に、学生サークル会館の外広場から東門越しにインキュベーションセンター（兵庫オフィスは2階）を眺めたもので、4月になると外広場の桜が見事なまでに咲き誇ります。



姫路発:姫路モノレール (2011. 8. 8 funa)

これはいったい何であろう!? 蔦（ツタ）に覆われた“謎の”遺跡。実はこの建造物、モノレールの遺構なのである。「姫路市営モノレール」は昭和41年「姫路大博覧会」の目玉として華々しく開通した。当時といえば蒸気機関車がまだ生き残っていた時代、姫路の市民はこの宙を滑走する列車をさぞや驚きの眼差しで仰いでいたことだろう。近未来の交通として活躍を期待されたモノレールだったが、その後利用客の激減により僅か8年という短い生涯を閉じることになる…。現在では写真のような遺構が市



内に幾つか見られるほか、手柄山交流ステーション内に当時の車両が保存・公開されている。姫路へ来られる際は、是非お立ち寄りを。

堺発：旧浪速大学門扉跡 (2011. 7. 20 R. I.)

大阪府立大学の白鷺門を出て左に100mほど歩くと、左手構内に「旧浪速大学門扉跡」が見えてきます。外壁の修繕工事が行われ、外路からの見通しが良くなり構外からその姿を見る事が出来るようになりました。大学HPによると「大阪府立大学（旧）」は、1949（昭和24）年に、旧制7つの専門学校が母体となり「浪速大学」（1955（昭和30）年「大阪府立大学」に改称）として大阪府により設置されました。その後2005（平成17）年4月に大阪女子大学、府立看護大学と統合し、現在の「大阪府立大学」としての新たな歴史がスタートしています。日々何気なく歩く道すがら、身近にある歴史の足跡に思いを馳せるのでした。



姫路発：姫路駅から見えるもの (2011. 7. 11 K. A.)

姫路駅を降りて北口を出ると、大手前通りの先に世界遺産・姫路城が構えているのが目に入ります。本来であれば、「兵庫オフィスに来る途中で、白く輝く姫路城も見えます！」と言いたいところですが、実は現在「平成の大修理」中なのです。上の写真の状態になっており、優美なお城全体を見ることはできません…。その代わりに、3月末より大天守修理見学施設「天空の白鷺」がオープンし、なんと修理の様子をお城の上から拝見できます。お城を上から見下ろし、瓦などを間近に見られる機会なんて滅多にあるものではありません。城の内部も一部を除いて公開は続いておりますので、是非とも修理中の姫路城を見学においでください。詳しくは (<http://himeji-jo-syuri.jp/>)。

